

2011/7/9n~7/10 熊追山下二股川

└ 栗山、堀井、渡邊

「熊追山下二股川」は古平川支流、積丹、後志管内である。今回単独遡行の予定だったが日高沢山行の日帰り組(栗山-堀井)に話を持ち込んだところ、「そっち行こう！楽しそうだ、近いし」という返事をもらい3名での遡行になった。

栗山、渡邊は2011の沢例会「クマの沢(ヌビナイ左股)」のプレ&スーパーモチベーションの新人堀井のパワーアップ目的を兼ねた great な沢山行になった。

7/9 n。

2230 に下二股川の林道集合&泊。midnight の 0200 過ぎまで栗山車で呑んだ。なぜなら外は大雨、明日の中止を予感。何を話したかは不明。それはいつものこと。

7/10

0600 起床。小雨。少し蒸し暑くなってきた。古平川本流に川の色を見に行くとほうじ茶色だ。濁っていたが行けそう。

林道終点から歩くこと 40 分で林道分岐、左は帰りに使用の林道。右は入渓地点へ伸びている。右へ行く。そこから 10 分歩きコンクリートの橋を渡り入渓する。地形は平坦で川は網の目のように広がっており、すぐに合流する支流出合いの滝が豪快だ。本流を見失いそうになるがコンパス切って本流へ合流。

20 分くらいで核心 F1、40m 2 段の滝。直登もできるが、胸まで釜につかりながらへつって行かなければならず、且つ水流も多く装備は 40m ロープ 1 本なので、3 ピッチで右岸を巻く。栗山リードでロープを出す。

そのあとは滝・滝・滝だ。途中の long なナメ滝が水流多く、足をすくわれそうで恐ろしい。途中左岸→右岸への jump もあった。これはビックリだった。なぜなら栗山(47)、堀井(40)が全力で滑りそうなナメ滝を飛び越えるのだ。若い…。若すぎる、北稜クラブ男子。

沢は右へ左へ 90 度近く曲がりつつ、その屈曲点ごとに滝がでてくる。F4 : 30m の見事な滝。順層の右岸側を登る。

F6 : 7mは左右2本に分かれていて、左の細い方の水流の中を行くのが standard らしいが、今日は有事である、攘夷である、増水である。

栗山リードで滝右岸の苔苔スラブの中央に取り付く。手に足、プッシュと狭いムーブを繰り返していたが草付がボロボロ落ちてきて、そのうち本人も落っこちてきた。

交代で渡邊。滝の中を行こうとするが水流強く落っこちそうになり断念。苔苔スラブの中央やや右よりに取り付く。フラッキング→パーミングホールド→手に足→マントリングという Yosemite スラブ的なものに。沢はプロテクションが取れないというのが怖い、原始のクライミングを感じる。

やがて C620 二股を左、そして C650 二股…を過ぎてしまい、ちょっとバック。C650 二股を左。そこから上は水流の多い方を選ぶと林道へでる。

そして帰りの林道はなぜだかイチゴ畑になっており、皆で小雨の中でムシャぶり食う。

沢を登ったのはもちろん面白いが、前泊の酒宴で何を話したかが気になる。そしてイチゴ畑は一見の価値あり。

沢のグレードは増水してなければ「!!」の沢だと(栗山氏談)。

そして堀井氏に頼もしきリーダーの予感。

* 林道終点 (発) : 0740

* 入渓ポイント : 0830

* Co620 二股 : 1400

* 下山林道 (着) : 1444

* 車デポ地 : 1600

【コースタイム : 堀井】

(記 : 渡邊)